

教学データからのモチベーション向上・キャリアパス支援の情報推薦

富山県立大学工学部電子・情報工学科
1815043 滝沢光介

指導教員：奥原浩之

1 はじめに

近年、コロナウイルスの影響から売り手市場で会った就活情勢が買い手市場にシフトしつつある。そこで学生は就職を希望する会社に入社するにはその会社が求める人材になるために効率的に勉強を行う必要がある。

そこで過去の卒業生の就職先や成績などのデータベースからクラスタリングを行い、その学生がどうしたら希望する企業に効率よく就職できるかのフィードバックを行う。また、学生が希望する企業の分析も行い、より細かいフィードバックを行えるようなシステムを作成する。

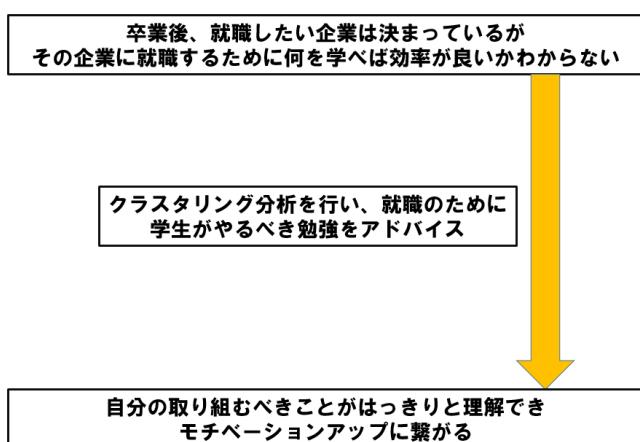


図1 完成目標

2 システムについて

2.1 現在考えている機能について

現在、学生へのフィードバックをする機能として、「学生が希望する企業を指定し、過去の学生の成績などから分析を行う」といった機能と、「学生が希望する企業を指定し、その会社のホームページなどから、その会社が何を重用強いているかの分析を行う」といった二つの観点から、学生へのフィードバックを行うことを考えている。

2.2 システム概要

システム全体の流れとして以下のようなものを考えている。

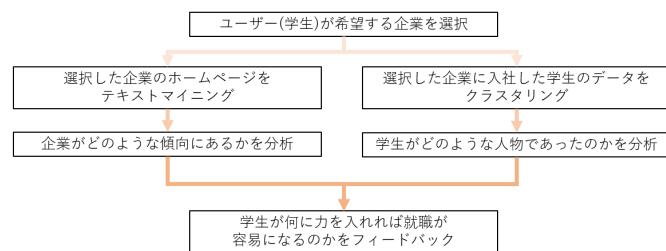


図2 システムの流れ

3 扱うデータについて

3.1 学生データ

学生データに関しては、本来ならば実際の富山県立大学生の過去のデータを使いところであるが、個人情報であるのでそれはできない。よって今

回はデモデータを作成してそれを使ってシステムの検証などをていきたいと考えている。

学生データのデータフレームの作成は、オープンソースである *MySQL* を使って作成していく予定である。

3.2 企業データ

企業データについては、ユーザーが選択した企業のホームページなどからテキストマイニングを行おうと考えている。

その企業が何を重視しているのか、どのような傾向にあるのかを分析し、その結果を学生データの分析と組み合わせてなどと組み合わせてフィードバックしていきたいと考えている。

4 今回使用するツール

今回、学生データの扱いについて、後々の拡張のことを考えてデータフレームの扱いやすい *MySQL* を使っていく。

5 進捗状況

アバウトではあるが研究でやりたいことなどが見えてきた。ただ、まだ大まかな外形しか決まっていないのでこれからデータの扱い方などを学んでいきたい。

6 おわりに

今後の課題としては、まだ山ほどあるが、当面の目標としてはデモデータの作成を最優先で行っていきたい。デモデータの内容は、学生の成績に加えて、留学経験、インターンの参加、TOEIC のスコアなど成績以外の面からもデータ分析を行っていきたい。

企業のホームページからのテキストマイニングはまだ理想として語っているだけなので、これから現実に落としていきたい。

参考文献

- [1] 就職か都度支援システムにおける企業情報推薦機能の開発-企業の採用項目と就活生のアピールのギャップに注目して- 何陽 長谷川忍 情報処理学会研究報告 2019年3月